チャレンジアップ成功体験記

【資格取得部門】2020年 3月受賞　藤間一希さん
業績：2級建築士取得

Q.1 2級建築士にチャレンジしたきっかけを教えて下さい。

1級建築士を取得するという目標の前段階として、資格取得がどういうものなのかを知るためと、就職活動のプラスにするために、2級建築士の取得を目指しました。

Q.2 合格までの道のり（受験対策や勉強時間など）を教えて下さい。

まずは、自身が一番集中できる時間帯、環境を探し、短い時間でも室の良い勉強ができる自分なりの方法を見つけるのが合格までの近道だと思います。私の場合、学科では自分の研究室で人が少ない夜の時間帯に暗記の作業をして、昼間に暗記したことの復習を繰り返し行なっていました。

Q.3 大学で受けた講義で、受験に役立ったことを教えて下さい。

建築計画、法規、構造などどの分野もすべて大切なのですが、特に計算の必要な構造や生活の中ではあまり気にしたことのない法規は、授業を受けないと理解できない部分があったので、授業を通して理解を深めることができました。
また、大学院では、飯野先生と涌井先生の授業（建築環境設備設計特論、建築防災学特論）を履修したのですが、履修者全員が2級建築士の取得を目指していたので、先生方が学生の要望に応じて、学科試験の内容も授業に取り入れて下さったのがとても助かりました。学生が解けない問題に対しては、丁寧に説明してもらうこともあったので、この2つの授業は、特に重要だったと感じています。

Q.4 実際に試験を受けてみてどうでしたか？

大変難しかったです。特に製図試験は、線もまともに引けない状態からのスタートだった事と期間が短いため、1日も休めない状況でひたすら図面を描いている日々でした。それでも、自身が目指す1級建築士の前段階として良い経験となりました。

Q.5 2級建築士にチャレンジして良かったことを教えて下さい。

建築士を取得するまでの流れを掴めた事、基礎的な建築の知識・製図力の向上が2級建築士にチャレンジして良かったと思える事です。また、就職活動で少しは有利に働いたのではないかと思っています。

Q.5 2級建築士にチャレンジしたい学生にアドバイスをお願いします。

どれだけ自分に厳しくなれるかが合格の鍵だと思います。